



Speaker Club の取り組み



Let FAITH
guide you

We listen
to what
others
have to say.



1 4
2 2
3 Complete P.I.S. poster
4 All (P.I.S. poster)
5
6



教材
改善



人材
不足



参加
機会



水とトイレを不自由なく使える生活を送っている日本の子供たちに自分ごととして捉えてもらうことは難しいと実感。



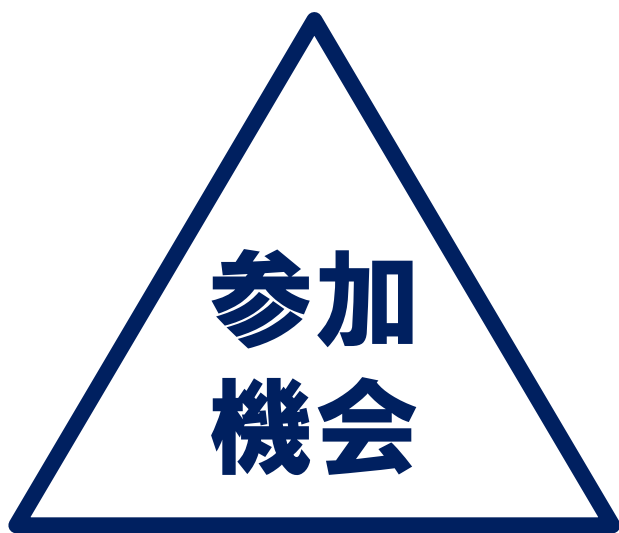
もう一步深い気づきや理解の得られるようなやり方を検討する必要があった。



多くの人に認知を広げることが目的ではあったが、職員数も少なく、さける時間にも限りがあるのが実情。



団体の体制としてこれ以上、積極的に対象を拡大することは困難であった。



多くの企業・個人が、途上国でのボランティア等、寄付とは違う形で団体に関わりたいという意向を持っている。



「現地ツアー」や「フェアトレード商品の販売」といった参加型の活動機会を提供することが難しかった。

2014年、WaterAid Speaker Club始動

Phase1

広く一般から参加者を募り、ウォーターエイドオリジナル教材を作成するワークショップを実施

Phase2

オリジナル教材を活用して授業を行うSpeaker Clubのメンバーになるための研修を実施、スピーカーを育成

Phase3

学校やイベント、企業等にて実際にスピーカーが授業を実施

教材 改善

体験し、考え、話し合いながら、途上国の水とトイレの問題に気づき、理解できるオリジナルの教材・授業作成を実施。

広く一般より参加者を募り、様々な視点を取り入れて作成した。



人材
不足

職員以外で広報・啓蒙活動の核となる人材を育成していくために、「WaterAid Speaker Club」を設立。

ウォーターエイドの活動や途上国の現状を真摯に語るができる人材を育成するため、1日講習や練習会を実施。



参加 機会

ボランティアとも、インターンシップとも異なる、主体性と活動に対する深い理解を持った人材として活躍できる場を提供できるように。

支援の輪を広げていくことにも繋がる。



数字で見る成果

Phase1

教材作成

幅広く告知し集まったのべ30名とともに

4種類の教材を作成。



Phase2

スピーカー
育成

立ち上げ7か月で**19名**のスピーカーを育成。



Phase3

スピーカー
による活動

イベントにて約**350名**に説明を行う。

スピーカー主体で行った授業に約**70名**が参加。

スピーカー独自による展開



自分の通う大学でワークショップを実施

ウォーターエイドの活動に興味を持っているメンバーで**メーリングリスト**を作成し情報共有を行ってくださっている企業も。



社内広報ツールで スピーカークラブを紹介



スピーカーからの感想



世界の水の問題は以前からいろいろ耳にはしていましたが、なかなか**自分事として**考えることができませんでした。今後は、自分のように**水問題を意識していなかった人たちに**ぜひ広めていければと思います。



多くのアクティビティを体験できたので、勉強になりました。**大学生用に少しアレンジして**(難易度を少し上げて)やってみようと思います。



話す側、受ける側の**両方を経験できて**とても参考になりました。実際に自分が**運営するイメージ**も持てました。

今後の展開

Phase1

教材作成

新たな教材作成

スピーカーとともに追加の教材作成を行う。**小学生向け**に体を動かしながら学べる要素を取り入れた教材も作成予定。



Phase2

スピーカー
育成

全国展開

今まで東京のみで行ってきたスピーカー講習会を、2016年は**北海道、名古屋、大阪、福岡**でも開催。

東京を含め各都市10名、計**50名**のスピーカーを育成予定。



Phase3

スピーカー
による活動

翌年2017年には、スピーカーの資格を得たメンバーの活躍により、**各都市150名**、東京においては外部イベントも含め**500名**の一般の人々へリーチを目指す。



2030年までに、すべての人がすべての場所で
安全な水と衛生を利用できる世界を実現するために